時事新報

時事新報は日本國中唯一の毎日刊行新聞紙あり

第二千五十二號
明治廿一年九月十九日　水曜日
舊戊子八月十四日(癸巳)
日出午前五時二十八分　日入午後五時四十一分
月出午後五時三十分　月入午前四時四分
滿潮午前四時三十九分　午後五時零三分
(西暦一千八百八十八年)

時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如ル
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
○一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

五號活字ニテ一行廿四字詰	一行ニ付一日限	一行ニ付二日以上六日迄	一行ニ付七日以上十五日迄	一行ニ付十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

商賣人の十露盤

東京の或る小間物屋にて商賣次第に繁昌し府下は勿論近國までも得意の客多く本店は常に流行專一として新奇の品を仕入れ府下には毎日得意廻りの手代小者を出して新物を披露し注文を聞き府外の地方には支店又は取次所の仕組を設けて種々樣々に賣弘めの工風を運らすに其費用甚だ少なからず雇人の給料小者の仕着せ其他臨時の諸入費を一年に計算すれば收入の幾部分は全く賣捌の爲めに消費するとの事を兼て懇意なる或る藩の某氏が聞込み大に感ずる所ありて乃ち小間物屋の主人に面會し當店にては雇人の給料のみにても一年に積りて莫大の金高なり内部の事はイザ知らず彼の得意廻り又は支店取次所の仕組ばかりにても一變したらば大に便利にして費用を減ずることある可し就ては拙者の藩にて無事に苦しむ士族の多ければ幾人にても之を雇入れ賣捌の一方を任せては如何、士族は身體も屈強にして勞力を憚る者にあらず全國何れの處までも往來して得意の家は門並に訪問れ注文の品を屆け又新に注文を取る可し殊に今日の有樣にては別に給料の望もなく唯その日の糊口にて澤山なる譯なれば從前の手代小者に渡す給金又は支店取次所の入費に較べて得失損益は申さずして明白ならん此邊篤と勘考ありたしと述べけるに主人は笑ひながら思召は難有けれども先づお斷り申す可し當店にて賣捌の費用多しと云ふも其實は省く可きを省き盡して正に今日の有樣に居るものなり本來貴下の計算は物の數の計算なれども商家の十露盤は數の外に人情を計算し賣買の掛引、應對の愛嬌にも價を附けて利益中の大項目に計へ込むものなり舊藩士族給料安しと云ふも是れは唯給料の錢の數にして他に大切なる賣買掛引の皆無なるを如何せん況んや其武骨不愛相なるを俗に申す御客除とも許す可き樣にして往々人をして驚ろかしめ恐れしむることある可し斯る種族を小間物商の得意廻りとは官吏に商賣とお賴み申すに異ならず得意を增すは扨置き在來の得意を追拂ふの方便ならんのみ給料の多少は論外、辨當持參只で御免と申されても先づ當店にては御免を被ると云々との挨拶に某氏も返す言葉なくして去りたりと云ふ右は近頃我輩が傳聞したる所にして事實談のよし其實否は姑く差置き稍や之に似寄る話しは兼て世上に喧しき郵便法と新聞紙との關係是れなり今度郵便法が改まれば新聞紙の配達は發行本局の周圍三里を除き之より以外は必ず郵便局の手に專らにするとの事なり此議は暫く中止のやうにも聞きしが近來復た再發とも噂する者あるに付ては我輩も亦言論の重複を厭はず筆鋒を再發することゝは爲れり抑も我輩が此一條に付爭ふ所は唯商賣上の損益利害一點にあるのみ假に今彼の郵便法をして噂の如く實行せしめんか第一是れまで全國各地に在る取次賣捌所は一時に破壞して之が爲めに其關係の者が衣食の道を失ふのみならず舊の取次賣捌所より郵便局の手に渡る其際の混雜に發行本社は賣揚の減算上に金を失ふ可きは自然の勢にして尚その上にもいよ／＼郵便局の手に移りたる所にて局の人々が官邊の資格を帶びながら商賣の得意先ある新聞の看客に對して愛嬌を呈し又商賣上に掛引するが如きは素よりある可らざることにして唯配達す可きものと集めて宿所姓名を調べ、間違なく之を先方の家に投するに過ぎず正面より見れば成るほど配達の本分を盡し更に遺憾なきに似たれども商賣は人情世界の事にして冷淡殺風景を許さず斯る正面一方の働を以て無數の看客に接して其不可なるを知るものあり世上の風聞には斯く郵便と改る上は從前一錢の税は五厘にも三厘にも減ず可し必ずしも新聞社の不利ならずなど説を作す者あれども是れは所謂物の數を算するの算にして商賣上の人情と計へたる十露盤にあらず我輩は爰に世の爲めに新聞紙の利益不利益等の論を論ずるに非ず是れは他日の論に遺し置き此場所は唯新聞商賣の利害一點より立言し社會の人情を損しては到底商賣の見込なきが故に假令へ郵税が五厘に減し又三厘に下りても今日の場合は新聞社の私に便利の處分して利を失ふことなからんと欲する者なれば政府の筋に於ても人民の商賣の不利を知りながら新法を斷行することもなかる可しと敢て自から之を信して漫に狼狽せざるものなり

官報

○軍艦發着　高千穗艦は去る十五日釜山に向ひ長崎港を拔錨、扶桑、浪速、海門の三艦は同日釜山に投錨、右高千穗、浪速、扶桑の三艦及筑紫、海門、武藏の三艦は同十七日孰も元山に向ひ釜山拔錨、金剛艦は去る十五日江田嶋拔錨同十六日神戸港に投錨、鳳翔艦は去る十五日横須賀港に投錨せり(海軍省)

○能登縮　石川縣能登國鹿嶋郡鹿嶋地方に產する能登縮は古來世上の好評を博し之に從事する工女凡そ三千人の多きに至り毎年の產出高大抵六萬匹に降らず實に鹿嶋郡中特產物の第一に居れり然るに近來洋服の流行に隨ひ早晩該工品に影響を及ぼすやの疑念なき能はず因て該郡長は當業者に說示し右麻布の原料なる野州產最上苧を以て洋服地織物の製造を試みしに品質强靭にして光澤を帶び西洋產リンチルの如き良品を製出したり則ち之れを一昨十九年開會の第二回關西府縣聯合共進會に出品せしより當業者の感覺を惹起し去る七月同郡高畠村に資本金二千圓を以て織物會社を創立し社長以下の役員を選擧して目下熱心製造に從事せり該品上等一碼に付き代價七十錢半綿のもの同三十五錢位の廉價に賣捌くにより續々注文を得て工業日を逐ひ盛大に赴くの景況なり(石川縣)

○虎列刺　清國各港及香港、璃港に於ける虎列刺病の景况に關し去る十五日午前十時五十二分發にて在上海領事館より左の電報ありたり(外務省)

璃港　同港前週間ノ虎列刺死亡者ハ三十名ヨリ少カラザリシモ香港ハ少ナシ
福州　同地ニテハ同病ナシ
芝罘　同地ニテハ支那人ノ中ニハ尚ホ同病者アレトモ減少ノ方ナリ
天津　同地ニテハ尚ホ類似症ノモノナキニアラザレトモ追々減少ノ方ナリ
上海　同地ニテハ本月來外國人中ニハ同病アルヲ聞カズ支那人ノ間ニ於テモ追々消滅ノ方ナリ

○フイリッピーヌ群嶋の景况並貿易(前號の續)

輸入の部

フイリッピーヌ群嶋へ輸入を爲すの國々は左の如し」但し其順次は輸入高の多少に從ふ

(一)英吉利　(二)英國植民地　(三)西班牙
(四)佛國植民地　(五)日耳曼　(六)支那　(七)白耳義
佛蘭西(八)　合衆國(九)　瑞西(十)
和蘭植民地(十一)　澳地利(十二)　暹羅(十三)
和蘭(十四)　伊太利(十五)　埃及(十六)
丁抹(十七)　瑞典諾威(十八)　日本(十九)

輸入貨物の主要なるもの左の如し

(一)木綿絲　(二)米　(三)葡萄酒　(四)木綿織物　(五)米粉　(六)化學製造物　(七)貯藏食品　(八)絹織物　(九)帽子　(十)麻製及毛製織物　(十一)鐵　(十二)家具　(十三)摺附木　(十四)火酒　(十五)紙　(十六)石炭　(十七)麥酒　(十八)玻璃器　(十九)蔬菜　(廿)木蠟

フイリッピーヌ群嶋の輸入貿易に最も直接の關係ある貨物は左の如し但し其順次は輸出の多少に從ふ

(一)米　(二)石炭　(三)玻璃器　(四)蔬菜　(五)紙　(六)米　(七)摺附木　(八)木蠟

(一)米　米は土人食料の基本たるを以て其耕作古より盛にして昔は之を輸出すること頗る多く其仕向け先は支那を以て最とせしが二十年以來其產出減少して終に外國の供給を仰ぐに至れり此變更の原因は甘蔗の耕作盛になりたるに因るものなり」米の輸入高は市場の需要に從ひて差異ありと雖も其平均高は一年八萬基此價二百萬弗と見做して大差なかるべし」現今フイリッピーヌ群嶋に米を輸入するものは佛領交趾(西貢)とす然りと雖も西貢の米は獨り其品質の惡きのみならず群嶋或る所に流行する脚氣病の一種にてベリベリと稱する病症の主因は此米に在りと云ふものあり但し西貢米の利は其價の廉なるに在り殊に佛國郵船會社が西貢とマニールの間に連月の直航を開きしより最も利便を得たり今日に在りては航海の期限は多くも四日を出でず又米は輸出入共に課稅することなし○(二)石炭　フイリッピーヌ群嶋中二三の石炭鑛あり而して人の說に據れば其品質極て優良なりと云ふ然れども該地方の事情に妨げられて未だ採掘するに至らず即ち其理由たる他なし該鑛の位置海岸を距ること頗る遠きを以て運搬の費用多きに過ぐること是なり是群嶋に於て內國の需用を外國に仰がざるを得ざる所以なり西班牙海軍のフイリッピーヌ群嶋に駐在する者各種の船艦四十隻あり其外專ら群嶋の用に供する極て美麗の沿海航行船(是は五百乃至九百噸の商船三十隻より成立つものあり)なり又マニール及地方に蒸氣を用ふる綱具及び砂糖製造所數多ありて其石炭を消費すること尠しとせず且つ蒸氣力を以て車を行る鐵道線路數多近頃開通せり第一線路(マニールよりダクパンに至る九百キロメートル)も既に其工事に着手したりと云ふ去れは石炭の消費高日一日より增加すべきは毫も疑を容れざるなり「石炭の輸入は最近五年間一年三千萬基此價二十萬弗に上れり」專ら石炭を供給する國は濠太剌利なりと雖もカルヂッフ(英國)も亦少量の石炭を輸入するものなり而してマニールに於ける石炭の平均相場はカルヂッフの分一噸八弗半乃至九弗濠太剌利の分六弗五十仙乃至七弗とす該石炭も亦輸入無稅なり○(三)摺附木

摺附木はフイ
雖も嶋中に於
(英路を經て
は四十萬基此
六百打を入れ
摺附木は多く
イリッピーヌ
とす○(四)
るを以て殆と
需要極て盛に
八萬弗なり是
リッピーヌ群
に製紙場の設
十基此價二十
同國には實に
那も亦他質の
す又紙は其品
り其等著左の
印刷物
板紙及書籍
房室函筐用
金銀を散布
荷造用通常
(六)玻璃器
五十五萬基此
の兩國より輸
の如し但し(雜
中實せる玻
中虛の玻璃
結晶玻璃及
(七)木蠟
年二十萬基に
地あり該品の
未製品
製成品

輸出
フイリッピー
輸出高の多少
(一)合衆
英吉利(八)
蘭
主要なる輸出
(一)アバ
烟草(五)
(八)革
石貨物の內日
(一)砂糖
(五)藍澱
(一)砂糖
は八百萬乃至
の耕作は實に
ンガー(呂宋)
穫す又同群嶋
貸する所なり
て砂糖を製す
に困難の時期
同群嶋より來
出税を納む○
の產物なるを
の輸出高は九
はアルベイ州
の耕作は火脈
衆國及英吉利
に網具の製造
交して種々の
リッピーヌ群
て今特に說明
二百萬弗內外
るカヾヤン及
班牙、英領及
製煙草　百其
ン、イザブラ
六弗　葉煙草
三弗　其外
(四)珈琲　珈